愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	リーダーシップ論		
担当者(Instructors)	榎澤 祐一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は、履修者のリーダーシップ養成を目的としています。以前は、リーダーシップというと企業幹部向けの教育が主流でした。しかし、現代では企業を問わずあらゆる組織に適用されるものであり、その対象もトップからメンバーに至るまでリーダーシップが求められてます。そして、特に世界的な視野でみると、とりわけ日本ではその必要性が高い状況です。その理由に踏み込みながら、精神論や道徳ではなく、心理学・経営学研究の知見を活用してのリーダーシップ発揮の方法を解説します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	毎回「前回講義の課題の振り返り⇒講義⇒レポート課題の取り組み」という順序で進みます。「前回講義の課題振り返り」では、前回レポート課題の中から代表例をピックアップして共有します。「講義」は、リーダーシップに関する経営学・心理学理論の解説または、これらに関する事例紹介です。講義の中で、ディスカッションをする場合があります。また、受講中3回の発表を通じて、リーダーシップに必要なプレゼンテーション（PowerPointを用いた発表、スピーチのいずれか）を実践します。学修状況により最大７回程度メディア授業を実施する予定です。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	導入	本科目の履修に必要なスタンスについて解説します。	□
第2回	リーダーシップとは何か？	リーダーとマネジャーの役割や機能の違い、企業行動において、いつリーダーシップが求められるのかを理解します。	□
第3回	PM理論とは何か？	PM理論、特性理論、行動理論など、20世紀後半に発達したリーダーシップに関する理論を通じて、当時の論点と時代背景を理解します。	□
第4回	学生発表①	リーダーシップに必要なプレゼンテーション（PowerPointを用いた発表、スピーチのいずれか）を実践します。	□
第5回	フォロワーシップ	リーダーに対するメンバーのあるべき姿を考察します。	□
第6回	サーバントリーダーシップ	新しいリーダー像としての「サーバントリーダーシップ」について解説します。	□
第7回	現代日本のリーダー事例	リーダーシップを発揮している現代の日本社会で支持されている人を紹介します。	□
第8回	権限のないリーダーシップ	最新のリーダーシップ育成概念である「権限のないリーダーシップ」について解説します。	□
第9回	学生発表②	リーダーシップに必要なプレゼンテーション（PowerPointを用いた発表、スピーチのいずれか）を実践します。	□
第10回	リーダーに求められるスキル	リーダーシップを発揮するために必要なスキルを紹介します。	□
第11回	多様性の中でのリーダーシップ	多様性の中でリーダーシップを発揮する際に必要な観点を紹介します。文化や男女の違いだけでなく、目に見えない多様性についても考察を深めます。	□
第12回	ジョハリの窓：自己認識と他人からの認識の一致をめざして	リーダーシップの発揮に必要な自己認識と他人からの認識の一致について説明します。	□
第13回	ディスラプション発想	リーダーの存在意義のひとつである現状打破の発想方法と実践方法を学びます。	□
第14回	学生発表③	リーダーシップに必要なプレゼンテーション（PowerPointを用いた発表、スピーチのいずれか）を実践します。	□
第15回	モチベーション3.0	リーダーシップに対してフォロワーシップを発揮してもらうためのモチベーション喚起の方法について解説します。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

学んだ内容の日常生活での実践と内省（2時間程度）。発表のためのプレゼンテーション資料作成やプレゼンテーションの練習（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

個々の課題に対して、次回講義で履修者と議論しながらフィードバックします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	他者と協働する上での基盤となる口頭による自己表現を適切にできる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			25%	75%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」は学生発表回のいずれかでの発表（スピーチ）です。「その他」は第1回～第15回のレポート課題の評価です。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		